全国11大学
参加

第13回 環境マネジメント全国学生大会（2019年）

2019年9月10日・11日、千葉大学で「第13回 環境マネジメント全国学生大会」が開催されました。
全国ユース環境ネットワーク事務局は、この大会を視察。日頃から実践している環境マネジメント活動を発表し、SDGsを考え、大いに語り合っていました。
全国の大学が自主的に集まる全国学生大会、その内容をご紹介します。

環境マネジメント全国学生大会とは

2007年から「全国環境ISO学生大会」が開催され、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を取得した大学の学生団体が全国から集まり、毎年、情報交換や交流を行ってきました。2017年（第11回大会）より、ISO取得の有無に関わらず、もっと広く環境活動に携わる学生たちが集まる会へと進化し、「環境マネジメント全国学生大会」に名称が変更されました。現在は学内外においてさまざまな環境活動に取り組む学生たちが集い、互いの活動報告や分科会での意見・情報交換を行っています。参加大学が持ち回りで運営しており、今年度は千葉大学環境ISO学生委員会が主催しました。

第13回大会の概要

テーマ　SDGsの残り10年の今求められること
～変えることのできる未来　私たちはどう取り組むか～

日　程　2019年9月10日（火）・11日（水）

場　所　千葉大学西千葉キャンパス

主　催　千葉大学環境ISO学生委員会

大会パンフレット

分科会

キャンパスツアー

成果発表

参加団体・組織（全国11大学　14団体　学生108人）

岩手大学環境マネジメント学生委員会
岐阜大学環境サークルG-amet
信州大学松本キャンパス環境学生委員会
信州大学工学部環境学生委員会
公立鳥取環境大学学生EMS委員会
中部大学ESDエコマネーチーム
琉球大学エコロジカル・キャンパス学生委員会
大阪大学環境サークルGECS
首都大学東京環境サークルnature
信州大学繊維学部環境学生委員会
日本工業大学学生環境推進委員会
千葉大学環境ISO学生委員会
三重大学環境ISO学生委員会
学生団体おりがみ環境チーム

実施内容

初日は参加した14団体の紹介プレゼンテーションがあり、各大学での様々な活動が共有されました。また、様々な大学のメンバーでグループを構成し、SDGsカードゲームでアイスブレイクを行いました。2日目にはキャンパスツアーで千葉大学の環境への取り組みがわかるスポットを巡りました。分科会ではSDGsの169のターゲットから決められた７つのテーマ（「貧困を援助する募金、大学生の私たちに身近なものとするためには」や「省エネを大学内で呼びかけるには」など）に分かれ、活発な議論が交わされ、最後にパワーポイントを用いて各グループが成果を発表しました。

実行委員長のコメント（千葉大学環境ISO学生委員会第16代目委員長　逸見るな）

今回は久々に関東での開催となったため、参加大学が増える努力をしました。おかげで、初めて参加してくれた団体もあり、幅広い活動を聞くことができてよかったです。分科会でのディスカッションではSDGsに関する理解を深められました。実現可能性のあるアイデアもあったので実行に移していけたら良いなと思います。

【参加団体募集中】　環境マネジメント全国学生協議会が発足しました

環境マネジメントの運営や環境活動を積極的に行っている日本の高等教育機関の学生団体が集まる組織で、第13回環境マネジメント全国学生大会で設立総会が行われました。持続可能な開発目標（SDGs）の達成と、学生の活動を通じた持続可能な社会の構築に貢献することを目的に、学生間の交流を促進するとともに、海外交流の窓口となる活動を行っています。全国学生大会の運営にも携わります。　詳しくはこちら　http://jsemn.org/

お問合せ先
環境マネジメント全国学生協議会事務局（千葉大学環境ISO学生委員会）
E-mail　info@jsemn.org